

対カザフスタン共和国 事業展開計画

2018年 4月 現在

基本方針 (大目標)	経済開発と社会開発のバランスのとれた国造り
---------------	-----------------------

重点分野1 (中目標)	経済・社会インフラの整備											
	【現状と課題】 カザフスタンでは、旧ソ連時代に整備されたインフラ設備の老朽化が進んでおり、運輸、電力等の経済インフラや、医療、教育等の社会インフラの更新が追いついていない。持続的な経済成長を支えるためには、これらインフラの更新が重要な課題となっている。			【開発課題への対応方針】 経済・社会インフラ整備のための協力を検討するとともに、その管理・運営面での技術協力を行っていく。								
開発課題1 (小目標) 運営・管理体制も含めた 経済インフラの 整備	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
	経済インフラ整備 プログラム	運輸、電力分野等の施設整備及びその 適正な運営、維持・管理を行う。	経済インフラ整備分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■	■				
			膜分離活性汚泥法(MBR法)による下水処理技術普及促進事業	民間提案型技協		■	■	■				
	社会インフラ整備 プログラム	医療、教育施設等の整備及びその適正 な運営、維持・管理を行う。	災害・被災医療	長期研修		■	■	■	■			
			医療機材分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■					0.04	
			教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■					0.39	

重点分野2 (中目標)	持続的経済成長のための人材育成													
開発課題2 (小目標) 持続的経済成長のための 人材育成	【現状と課題】 カザフスタンは、これまで石油など資源エネルギー価格の高騰を追い風に高度経済成長を成し得てきたが、持続的に安定した経済発展を実現するためには、産業の高度化や中小企業の振興を通じた製造業の育成、また近代技術を導入した農業の活性化などにより、産業構造の多角化を図る必要がある。このため、これらを担う人材を育成するとともに、ビジネス環境を向上させる政策策定や制度整備を行っていくことが必要である。			【開発課題への対応方針】 産業振興を担う人材育成及びビジネス環境を改善するための政策策定や制度整備のため、主として専門家の派遣や研修等の技術協力のスキームを活用した協力を実施していく。										
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考		
							2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
	人材育成プログラム	中央・地方行政の能力向上を目指した国家・地方公務員及び国家機関職員の人材育成、中小企業及び産業振興を担う民間人材育成を行う。	中小企業振興支援	国別研修	■									
			中小企業振興	個別専門家	■									
			人材育成分野の課題別研修	課題別研修他	■									
産業振興政策支援プログラム	中小企業振興、製造業、農業、産業多角化、金融・資本市場整備に係る協力をを行う。	生産・品質管理	個別専門家	■										
		アスタナ国際金融センターの能力強化	国別研修	■										
		産業振興政策支援分野の課題別研修及び青年研修	課題別研修他	■										

重点分野3 (中目標)	環境保全・気候変動対策											
開発課題3 (小目標) 先端技術を活かした環境保全対策及び気候変動対策	<b>【現状と課題】</b> 1. カザフスタンは放射能、大気・水質・土壌汚染、産業廃棄物など幾多の環境問題を抱えており、その改善が大きな課題となっている。 2. 万年雪融解や水源管理不足等の人為的原因により主に南部地域を中心に河川の氾濫・洪水や土砂災害が発生している。また南部地域は地震発生地帯でもあり、災害対応能力強化が急務となっている。				<b>【開発課題への対応方針】</b> 環境保全、災害対応能力を強化するため、主として専門家の派遣や研修等の技術協力のスキームを活用した協力を実施していく。							
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間					支援額 (億円)	備考	
	環境保全プログラム	カザフスタンの環境改善及び防災に資する協力をを行う。	環境保全・気候変動対策分野の課題別研修	課題別研修他	2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
			地震防災・耐震技術	国別研修								
産業部門の省エネルギー推進－エネルギー監査と省エネ活動			国別研修									

		その他												
その他	【現状と課題】 1. 中央アジアは、貧困、環境、防災、麻薬、国境管理、国際テロリズムなど一国のみでは容易に対処できない課題を抱えており、これらに対処するための地域横断的な支援が必要である。 2. カザフスタンは開発援助機関（カズエイド）を立ち上げ、ドナー国としてアフガニスタンや中央アジアの諸国に対する援助・支援を行う予定であることから、開発協力に関する知見の共有や人材の育成等が必要である。			【開発課題への対応方針】 地域横断的な課題に対応するとともに、カザフスタンの援助国としての能力を強化するため、主として専門家の派遣や研修等の技術協力や国際機関と連携した協力を進めていく。										
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考		
	2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度								
	地域課題解決プログラム	国境管理、麻薬対策、防災等中央アジアの地域横断的課題に対する協力をを行う。	中央アジアにおける総合的なリスク管理能力及び地域協力強化計画(UNDP連携)	マルチ	■	■	■	■					6.16	
			中央アジアにおける薬物・犯罪に対する国境連絡事務所設置及び越境協力強化計画(国連連携/UNODC実施)	マルチ	■	■	■						2.96	
			中央アジアにおける暴力的過激主義防止のためのコミュニティ強靱化及び域内協力促進計画(UNDP連携)	マルチ		■	■	■					6.88	
		中央アジアの地域横断的課題に対する課題別研修	課題別研修他	■	■	■								
開発援助機関協力プログラム	カザフスタンの開発援助に携わる人材育成等の協力をを行う。	カザフスタン援助機関設立のための職員能力強化プロジェクト	技プロ	■	■	■								

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」,「個別機材」,「国別研修」,「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協力隊)、「SV」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」,「第三国研修」,「現地国内研修」,「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款,海外投融資)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協力学キーム)、「中小企業支援」(＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」,「案件化調査」及び「普及・実証事業」,並びに中小企業連携促進基礎調査)、「実線」(＝実施期間)、「破線」(＝実施予定期間)  
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。